

令和5年度学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	①生徒の進路選択に適合する教育課程を編成し、組織的な授業改善に取り組む。 ②情報活用能力、論理的思考力や他者と協働した問題解決能力を身につけさせる授業を実践する。	①組織的な授業改善に向けて校内研修を実施し、指導と評価の一体化を推進する。 ②プログラミング的思考力の育成を継続すると共に、協働的な学習をとおりて問題解決能力を育成する。	①授業改善に向けた校内研修を実施する。 ①授業中に評価の場を設定し、「指導と評価の計画」を実践することができたか。 ②教科指導や探究の時間、学級活動など、あらゆる場面でプログラミング的思考力が育まれるような活動を展開する。	①授業改善に向けた校内研修を実施できたか。 ①「指導と評価の計画」を実践し、授業中に評価の場を設定することができたか。 ②プログラミング的思考力や他者との協働による問題解決能力を育成できたか。
2	生徒指導・ 支援	①生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図る。 ②生徒の自己肯定感及び自己有用感を育成し、コミュニケーション能力を身につけられる指導を実践する。	①生徒一人ひとりの状況を的確に把握し、必要な支援を行う。 ②共生社会の一員としての社会性を身につけると共に、生徒の主体的な活動をとおりて、自己肯定感や自己有用感を向上させる。	①面談等をとおりて把握した生徒情報を、担任、学年団、教育相談コーディネーター、養護教諭、スクールカウンセラー等と共有し、必要に応じて外部機関と連携しながら支援する。 ②部活動、生徒会活動におけるボランティア活動の活性化を図ると共に、行事で生徒が主体的に活動する場面を増やす。	①生徒情報を学年会やグループ会議、生徒情報連絡会等で共有し、必要に応じて外部機関と連携し、有効な生徒支援ができたか。 ②地域との連携活動やボランティア活動への参加生徒数が増加したか。行事で生徒が主体的に活動する場面を増やすことができたか。
3	進路指導・ 支援	より質の高い進路目標を生徒が自ら設定し、自主的に準備に取り組めるよう進路指導の充実を図る。	・生徒が主体的に自らの進路を選択し、それを実現できるような指導・支援を充実させる。	・進路説明会の実施等によって最新の情報を提供すると共に、面談等により、個々の生徒を支援する。 ・スタディサプリの活用を推奨し、生徒が主体的に自らの進路選択に向き合えるようにする。	・進路説明会や生徒との面談を実施し、個々の生徒に対する支援が適切であったか。 ・進路に関する満足度調査において、85%以上の生徒が満足と答えたか。 ・スタディサプリの利用者数が増えたか。
4	地域等との 協働	地域との協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。	①本校の教育活動を積極的に公開することによって、本校への理解を深めてもらう。 ②地域に開かれた学校として、地域と連携した活動を活性化させる。	①学校説明会等をとおりて、本校の特徴や教育活動を、中学生やその保護者に理解してもらう。 ①HPの内容を精査すると共に、適宜更新する。 ②地域と連携した活動を模索し、実施する。	①アンケート調査で参加者の80%以上の方に満足してもらえたか。 ①HPを適宜更新し、最新の情報を公開することができたか。 ②地域と連携した活動を実施することができたか。
5	学校管理 学校運営	すべての職員が教育環境の変化に対応し、前向きに課題に取り組む学校文化を形成する。	・高校教育を取り巻く様々な課題に協働して対処できる体制を構築し、実践的に運用する。	・一人1台端末やBYODを活用した、学級経営や授業実践スキルを身に付ける。	・一人1台端末やBYODを活用した、学級経営や授業実践スキルを身に付けることができたか。